

～～第8448回～～

燧ヶ岳・尾瀬

～H30. 6. 2-4～

6月2日 袋井を早朝出発し途中圏央道で渋滞するも30分位で抜けられた。尾瀬戸倉温泉の駐車場は一杯だったが何とか入れてもらえタクシー2台で大清水に移動する。大清水から一ノ瀬は林道を歩き暫くすると登山道に入るが道がぬかるんでいる。沢の横の道は涼しく気持ちがいい。そして木道になり木の階段を上ると途中木々の間から稜線を見ることが出来る。木道は一部傷んでいたり傾いていたりで注意しながら歩き三平峠に着く。それから樹林の中を歩き尾瀬沼に到着する。尾瀬沼はビジターセンター等もあり小屋も沢山ある。尾瀬沼の向こうには明日登る雪を残した燧ヶ岳を見ることが出来る。沼周辺は水芭蕉が群生していて満開だ。予定通りに尾瀬沼ヒュッテに入り暫く周辺を散策した後一番風呂に入る。尾瀬沼ヒュッテは綺麗でトイレもウォッシュレットで気持ちがいい。

6月3日 朝食前に沼周辺の散策をする。なんと外は気温0度で霜が降りている。沼からは靄が立っていて幻想的だ。木道を歩いているとまだ新しい熊の足跡があり注意してヒュッテに戻り冷え切った身体をストーブで温める。朝食を済ませ長英新道コースで燧ヶ岳に向け出発する。雪解けのぬかるみが予想される為スパッツを付けビジターセンターの前を通り暫く木道を歩く。沼の周りは芝生のような背の低い草原が広がっている。木道を左に折れると燧ヶ岳の登山道となる。歩き始めはオオシラビソ林の中を緩やかに登る。標高を上げて周囲の樹々がまばらになると尾瀬沼を見下ろすことが出来る。さらに登るとミノブチ岳に到着する。少し進むと急な岩登りとなり全身を使って注意しながら登っていくとそこは俎岨である。俎岨は日光方面と尾瀬沼の景色が一望できる。柴安岨へは一度下り少し残った雪を登る。山頂は広く尾瀬ヶ原と至仏山方面の景色が一望できる。天気がいいので360度の大展望だ。下りは見晴新道コースを取るがいきなり急な岩場で気をつけて下る。途中雪が付いている箇所があり注意が必要だ。岩場が終わると今度は雪解けでグチャグチャの道となる。気を付けないと登山靴が埋まってしまう。登りの長英新道と違い手入れがされていない。木の根や笹が横たわっていて滑り4回も尻餅をついた人がいる。気を使う長い下りに皆疲れもピークになる。段小屋坂ルートとの合流点からやっと木道となり見晴十字路もあと少しだ。その内見晴の小屋が見えてくる。ここはコーヒーショップ等もありまるで小さな町のような。今日は原の小屋に入るが皆下りに疲れたようで散策する人はいない。ここも綺麗な小屋でやはり尾瀬は違う。

6月4日 今日は少し雪を残した至仏山を正面に見ながら尾瀬ヶ原のハイキングである。後ろには昨日登った燧ヶ岳を見ることが出来る。尾瀬ヶ原の水芭蕉は最盛期が過ぎて少ないが所々に見受けられた。サンカヨウやリュウキンカも咲いていた。カッコーの鳴声を聞きながら30分もすると竜宮小屋になりここから群馬県となる。周りには無数の池塘があり水のなかには小魚や山椒魚を見ることが出来た。山の鼻で休憩をとると鳩

待峠までは緩やかな登りが続く。するとツアーの団体がひっきりなしに続く。途中で聞くと小型バス 30 台位だという。1 台 25 人乗りとして 750 名。きっと尾瀬ヶ原の木道は竜宮まで往復繋がってしまうんだろうと思った。鳩待峠からはジャンボタクシーに乗り尾瀬戸倉の駐車場へ移動する。帰路の高速は平日の為か空いていて予定より早く帰ることが出来た。3 日間天気が良くのんびりとした日程で尾瀬を満喫できた。

参加者：10 名（袋井）

天候：6/2 晴れ 6/3 晴れ 6/4 晴れ

地図：三平峠・燧ヶ岳・尾瀬ヶ原・至仏山

コースタイム：袋井 500＝東名高速・圏央道・関越道＝沼田 IC＝尾瀬戸倉 1045＝大清水 1135…一ノ瀬 1240…三平峠 1400…尾瀬沼ヒュッテ（泊）1500-645…長英新道コース…燧ヶ岳 1120…見晴新道コース…見晴・原の小屋（泊）1500-645…尾瀬ヶ原縦走…山の鼻 920…鳩待峠 1040＝尾瀬戸倉 1110＝沼田 IC ＝関越道・圏央道・東名高速＝袋井 1900

記録：袋井支部 M・T & K・N